

八戸港韓国ポートセールスミッション 2024 について

令和6年1月15日(月)～18日(木)、八戸港国際物流拠点化推進協議会【※】のミッション団が大韓民国に渡航し、八戸港の貿易促進に向けた船会社へのPR活動や港湾視察を実施いたします。

【※】外航船及び内航船の利用促進による八戸港の国際物流拠点化を図り、もって地域経済の振興に寄与することを目的とした外郭団体（設立：平成7年度/会長：八戸市長）

1. 事業主体

主催：八戸港国際物流拠点化推進協議会、共催：八戸市

2. 期間

令和6（2024）年1月15日（月）～1月18日（木）≪3泊4日≫

3. 訪問先国

大韓民国（訪問都市、訪問歴は下表のとおり）

訪問先国	訪問都市	訪問歴
大韓民国	ソウル特別市	8回（H11・16・20・24・26・28年、R元・6年）
	釜山広域市	6回（H11・16・20・24年、R元・6年）

4. 主な目的

八戸港においては、現在、外航航路として4社の船会社（いずれも韓国船社）が航路サービスを提供しており、八戸港のコンテナ貿易の振興に大きく貢献して頂いている。

一方で、各船会社においては、コロナ禍におけるコンテナ不足を始めとした世界的な物流の混乱を経て、現在、航路改編等による寄港地の合理化が進められていることから、八戸港の更なる利用促進と利便性向上を図るため、船会社へのPR及び港湾視察を行うことを目的とする。

5. 参加者

16名（・団 長：八戸港国際物流拠点化推進協議会会長（八戸市長）熊谷 雄一
・上記の他、八戸港国際物流拠点化推進協議会構成団体 及び 貿易関係団体）

6. 実施内容

(1) 船社訪問

○目的 現在航路サービスを展開する韓国船社に対し航路サービスの維持・拡充に向けた八戸港のPRを実施するほか、現在の海運状況や今後の見通しについて意見交換する。

○訪問先 下表のとおり（ソウル市内）

就航船社	航路開設日	八戸港寄港曜日	摘要
なんせい 南星海運(株)	H10.8.29	(月)	・高麗海運(株)との共同配船により1便を運航 ・H30.8.29に航路開設20周年
こうらい 高麗海運(株)	H30.10.31	(月)	・南星海運(株)との共同配船により1便を運航
シノコー 長錦商船(株)	H27.10.27	(火)(土)	・興亜LINE(株)との協調サービスにより2便を運航
ヒョンガライン 興亜LINE(株)	R元.5.17	(火)(土)	・長錦商船(株)との協調サービスにより2便を運航 ・開設当初は興亜海運(株)として運航開始。R元.12月に同社コンテナ事業が長錦商船(株)に移管され、現在の興亜LINE(株)として運航。

(2) 釜山港視察

○目的 八戸港における外航航路の貨物積替港であり、年間2,000万TEUを超えるコンテナ取扱量を誇る世界有数のハブ港（令和4（2022）年取扱量：世界第7位）である釜山港の視察を実施し、今後の八戸港における貿易振興に向けた情報収集を行う。

○訪問先 釜山港、釜山港湾公社(釜山港の管理会社)

7. 行程

	月 日	内 容	場 所
1 月	15日(月) 《1日目》	移動日	八戸駅 発（成田空港経由） 金海(キム)国際空港(釜山市) 着 【釜山泊】
	16日(火) 《2日目》	釜山港 視察 南星海運(株) 訪問	釜山市 ソウル市 【ソウル泊】
	17日(水) 《3日目》	高麗海運(株) 訪問 長錦商船(株) 訪問 興亜LINE(株) 訪問	ソウル市 " " " 【ソウル泊】
	18日(木) 《4日目》	移動日	金浦(キム)国際空港(ソウル市) 発 (羽田空港経由) 八戸駅 着